

要 旨

試験委託者

環境省

表 題

o-クロロトルエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する繁殖阻害試験

試験番号

A 0 0 0 4 6 7 - 3 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドラインNo. 211「オオミジンコ繁殖試験」(1998年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： o-クロロトルエン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (毎日試験液の全量を交換)
水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 21日間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区, 助剤対照区, 0.0300, 0.0700, 0.170, 0.420, 1.00 mg/L
公比：約 2.4
助剤濃度一定：6 mg/L (2-メキシタール および HCO-60 使用)
- 6) 試験液量： 80 mL/容器
- 7) 連数： 10容器/試験区
- 8) 供試生物数：10頭/試験区 (1頭/容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明/8時間暗
- 11) 分析法： 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

試験液の分析の結果、測定値の設定値に対する割合が、 $\pm 20\%$ を超える値があったため、結果の算出には測定値の時間加重平均値を用いた。

2) 21 日間暴露後の結果

親ミジンコの半数致死濃度 (LC50) :	0.481 mg/L
	(95%信頼区間 : 0.313~0.744 mg/L)
50%繁殖阻害濃度 (EC50) :	0.352 mg/L
	(95%信頼区間 : 算出不可)
最大無作用濃度 (NOEC) :	0.313 mg/L
最小作用濃度 (LOEC) :	0.744 mg/L